

「すぐ使えるメールフォーム」使い方説明書 (対象バージョン: Ver. 1.9)

2019年7月
<https://email-form.sugutsukaeru.jp/>
Copyright(c) 2013 Sugutsukaeru Inc.
All rights reserved.

「すぐ使えるメールフォーム」のご利用ありがとうございます。このファイルでは「基本的な使い方」、「サーバ変更に際する注意事項」、「カスタマイズ方法」、「フリー版とレギュラー版の違い」についてご説明します。

1 基本的な使い方

1-1 ダウンロード

まずは製品をダウンロードしてローカルパソコンに保存して下さい。「すぐ使えるメールフォーム」のWebサイトのどのページにもダウンロード用のリンクがあります。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/>

1-2 解凍

ダウンロードしたファイルをダブルクリックして下さい。圧縮されたファイルが解凍できます。解凍されると以下のファイルとディレクトリが現れます。

説明書類

README.pdf 価格や利用規約を記載(必ずお読み下さい)

document.pdf 使い方説明書(このファイル)

製品ファイルディレクトリ

admin/ 管理画面用 CGI とデザインテンプレート

contact/ 問合せフォーム本体 CGI

css/ スタイルシートファイル(管理画面、問合せフォーム両方)

data/ データ保存用ディレクトリ

font/ 管理画面で使用しているアイコンフォントファイル

img/ 管理画面で使用しているロゴファイル等

js/ JavaScriptファイル(管理画面、問合せフォーム両方)

templates/ 問合せフォーム用デザインテンプレート

1-3 Perl パスの変更

製品ファイルの中から以下のファイルを開いて、1行目にある Perl のパス (1) を変更して下さい。なお、編集に使えるエディタ (ソフト) には条件があります (2)。お手元のエディタが対応しているか分からない場合は下記でご案内するオンラインエディタをご利用下さい。

Perl のパス変更対象ファイル

```
contact/index.cgi  
admin/csv.cgi  
admin/field.cgi  
admin/index.cgi  
admin/mail.cgi  
admin/reset.cgi
```

1 Perl のパスとは

「Perl のパス」は CGI プログラム実行のためにファイル内に記載しておく必要がある情報で、具体的には以下のような文字列です。ご利用の Web サーバの管理会社から情報が提供されているはずですので、管理会社に問い合わせるかユーザ用のマニュアルなどをご参照下さい。

```
/usr/local/bin/perl
```

```
/usr/bin/perl
```

なお、「すぐ使えるメールフォーム」の初期設定では以下の様な記載になっています。

```
#!/usr/bin/perl --
```

Web サーバ会社から指定されている Perl のパスが「/usr/bin/perl」だった場合は変更する必要はありません。パスが違う場合はファイルを編集して下さい。変更する際は行頭の「#!」と行末の「--」 (半角スペースの後に半角ハイフンを2つ) は残して下さい。

なお、編集は、下記の形式 (2) での保存ができるテキストエディタで行って下さい。お手元がない場合や、お手元のエディタが対応しているか分からない場合はオンラインエディタ (2) をご利用下さい。

2 編集に使えるエディタ

「すぐ使えるメールフォーム」のプログラムファイルや設定ファイルの編集には、下記の条件を満たすエディタ (編集ソフト) を使って下さい。Windows の「メモ帳」では対応がありません。

- ・文字コード「BOMなし UTF-8」で保存可能
- ・改行コードが「LF」(UNIX形式) または「CR+LF」(Windows形式) で保存可能

お手元のエディタが対応しているか分からない場合は下記のオンラインエディタをご利用下さい。

<https://multilingual-editor.sugutsukaeru.jp/>

1-4 メール送信の設定

次に、メール送信の設定をします。設定するポイントは以下の3点です。

- ・ Sendmail のパス
- ・ メール送信者の名前
- ・ 送信元のメールアドレス

このうち、「Sendmail のパス」はやはりサーバ管理会社から提供されているはずですので、管理会社に問い合わせるか Web サーバのマニュアルをご参照下さい。

「メール送信者の名前」と「送信元のメールアドレス」は、ご自身（自社）の名前とメールアドレスです。送信元メールアドレスはメールの返信先になりますので、何を使うか決めて置いて下さい。

設定内容を決めたら、admin/common_setting.pl を開いて初期設定を書き換えて下さい。
このファイルの編集も、上の 2 の条件を満たすエディタで行って下さい。

初期設定

```
#=====
# メールの基本設定
#=====
# メールテンプレートのファイル名と管理者メールアドレスを指定して下さい。
# 送信元 ($conf{from_mail}) として使用できるメールアドレスは
# サーバによってはドメイン名などが制限されていることがありますので、
# 設置するサーバで使用可能なアドレスを設定して下さい。

$conf{sendmail} = '/usr/sbin/sendmail'; #sendmailのパス
$conf{from_name} = '会社名など'; #メール送信元名称 (ユーザ宛て、管理者宛て共通)
$conf{from_mail} = 'webmaster@your-domain.co.jp'; #メール送信元 (ユーザ...共通)
```

変更例

例えば、以下のように設定する場合は編集後のファイルの中身は下記例のようになります。

設定値

Sendmail のパス	/sbin/sendmail
メール送信者の名前	株式会社山田商事
送信元のメールアドレス	campaign@yamada-sho-ji.co.jp

編集後のファイル

```
$conf{sendmail} = '/sbin/sendmail'; #sendmailのパス
$conf{from_name} = '株式会社山田商事'; #メール送信元名称 (ユーザ宛...者宛て共通)
$conf{from_mail} = 'campaign@yamada-sho-ji.co.jp'; #メール送信元 (ユーザ...共通)
```

注意点

送信元のアドレスを設定しただけでは、メールが自動的に送信元に送られるようにはなりません。後で後述の「メール内容と宛先の設定」も行って下さい。

1-5 アップロード

以上で最低限の設定が終わりました。以下のディレクトリをファイルの中身ごと Web サーバにアップロード (3) して下さい。

もし、Web サーバ上に既にあるディレクトリと名前が重複してしまうものがある場合は、お好きな名前でディレクトリを作成してからその中にアップロードして下さい。

```
admin/  
contact/  
css/  
data/  
font/  
img/  
js/  
templates/
```

3 アップロード

「アップロード」は FTP ソフトで行います。「FTP ソフト」がよく分からない方は下記のページをご参照下さい。

<https://support.sugutsukaeru.jp/ja/tutorials/installation/10.html>

1-6 data/ へのアクセス確認【重要】

アップロードしたサーバー上の data/ ディレクトリにアクセスして下さい。

1-5 で Web サイトのトップディレクトリに直接これらのディレクトリをアップロードした場合は、URL は <http://www.example.co.jp/data/> のようになります。(「www.example.co.jp」の部分はお使いになっている Web サイトの URL に置き換えて下さい。)

data/ ディレクトリにアクセスしたら、「403 Forbidden」または「許可されていません」などのエラーが表示されることを確認して下さい。

このエラーが表示されないサーバは .htaccess の設定が有効になっておらず、このまま利用するのはセキュリティ上問題があります。data/ を安全な場所に移動できない場合は、「すぐ使えるメールフォーム」をご利用にならないで下さい。

「安全な場所」とは、お使いになるサーバ内で、Web サイト用の公開ディレクトリとは別の場所の事です。通常、サーバのマニュアルに案内がありますので探してみてください。

後でディレクトリの変更が可能そうであれば、ひとまずはその他の動作確認をするためにこのままテストで設置を進め、後からディレクトリの移動を行って下さい。ディレクトリの移動方法は

後述「カスタマイズ方法」のセクションに記載があります。

「500 Internal Server Error」が出る場合

Web サーバが Apache のバージョン 2.4 以上の場合、data/ ディレクトリにアクセスした時に「403 Forbidden」ではなく「500 Internal Server Error」が出ます。この場合は、以下のページをご参照の上、設定の変更を行って下さい。

<https://support.sugutsukaeru.jp/ja/troubleshooting/installation/236.html>

1-7 パーミッションの設定 (4)

アップロードしたら、サーバ上の以下のファイルに実行パーミッション (実行権限、755) を設定して下さい。

```
contact/conf.cgi  
contact/index.cgi
```

```
admin/conf.cgi  
admin/csv.cgi  
admin/field.cgi  
admin/index.cgi  
admin/mail.cgi  
admin/reset.cgi
```

4 パーミッションの設定とは

「パーミッションの設定」とは、「これはプログラム」「これは書き込みファイル」と印を付けていく事だと思って下さい。アップロードに使っている FTP ソフトでこの設定が可能です。操作の仕方がよく分からない方は下記のページをご参照下さい。

<https://support.sugutsukaeru.jp/ja/tutorials/installation/10.html>

1-8 管理画面にアクセス

設置した admin/index.cgi にアクセスして下さい。

1-5 で Web サイトのトップディレクトリに直接これらのディレクトリをアップロードした場合は、URL は <http://www.example.co.jp/admin/index.cgi> のようになります。(「www.example.co.jp」の部分はお使いになっている Web サイトの URL に置き換えて下さい。)

500 または 403 というエラーが出る場合

ブラウザから管理画面にアクセスした時に 500 (Internal Server Error) または 403 (Forbidden) というエラーが出る場合は、原因の可能性が多岐にわたります。以下のページに可能性とその対応方法をまとめてありますので、ご確認の上設定を修正して下さい。

500 (Internal Server Error) の場合 <https://sugutsukaeru.jp/cgi/j/33/>

403 (Forbidden) の場合

<https://sugutsukaeru.jp/cgi/j/62/>

いずれの場合もページ内で「admin/admin.cgi」と記載のある部分はそれぞれ以下の通り読み替えて下さい。

管理画面の場合	admin/index.cgi
フォームの場合	contact/index.cgi

「エラーが起きました」という表示が出る場合

ブラウザから管理画面にアクセスした時に「処理の途中でエラーが起きました」と表示された場合、画面に記載のある通りに設定を変更して下さい。

エラーメッセージの例

「処理の途中でエラーが起きました。」という表示の下に小さく表示されている内容に注目して下さい。例えば以下のように表示されます。

```
$conf{data_dir} ( ../data/ ) のパーミッション設定を変更して下さい。推奨設定は 757 です。(現在は 755 )
```

この場合は、最初のカッコの中に記載されている data/ ディレクトリのパーミッションを「推奨設定」とされている「757」に変更して下さい。

ファイルの内容が表示される場合

ブラウザから管理画面にアクセスした時に管理画面の表示ではなく、ファイルの中味がそのまま表示されてしまう場合、CGIの実行設定が有効になっていない場合があります。

この場合は、上記の「1-7 パーミッションの設定」がされているかをもう一度確認して下さい。確認しても設定に問題なければ、サーバのマニュアル等で他に必要な設定がないかを調べて下さい(オプションの申し込みをしないと CGI が稼働できないサーバもあります)。

CGIを設置するディレクトリの指定がある場合

cgi-bin/ ディレクトリに CGI を配置しなければならないサーバの場合でファイルがまだこのディレクトリに無い場合、以下のディレクトリは cgi-bin/ の下に移動して下さい。ディレクトリの移動の方法は、後述「カスタマイズ方法」のセクションの 3-B をご覧下さい。

```
admin/  
contact/  
templates/
```

「この文字が見える場合 ...」と表示される場合

管理画面の見た目がデモサイトのようにならず、ページ内に「この文字が見える場合、CSS や Javascript ファイルへのリンクが切れています。」と表示されている場合は以下のディレクトリの場所と管理画面テンプレートからのリンクの記載が合致しているか確認して下さい。管理画面のテンプレートは admin/ ディレクトリ内にあります。

css/
js/
img/
font/

もしファイル一式を cgi-bin/ ディレクトリの下にアップロードしてこのエラーが起きている場合は、下記ページの方法で上の4つのディレクトリを移動して下さい。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/contact/#no-css>

1-9 メール内容と宛先の設定

管理画面が表示されたらまずメールの設定を行って下さい。

「設定」 「メール」メニューから、送信するメールの宛先や本文の設定を行って下さい。

宛先の設定

フォーム送信時に入力されたメールアドレスに自動返信する他、管理者など固定の宛先にもメールを送信する事ができます。逆に、管理画面から指定しない限りどなたにもメールは送信されません。

内容の設定

メールに表示できる項目が「差し込み可能な項目」という名前のタブに表示されますので、ここからコピーして本文の設定を行って下さい。差し込み項目は件名にも含めることができます。

1-10 フォームの利用

メールフォームの URL は「フォーム」メニューからリンクしています。設定が終わったらフォームにアクセスして、送信をテストして下さい。公開する時はこの URL に他のページからリンクして下さい。

スラッシュで終わる URL (<http://www.example.co.jp/contact/> など) でアクセスしてうまく行かない場合は下記ページをご参照下さい。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/contact/#directory-index-forbidden>

確認画面の後エラーになった場合

フォームを送信した時に、確認画面までは表示されるのにそこから「送信」ボタンを押してエラーになる場合、メールの送信元設定が原因の可能性があります。ご利用のサーバで許可されていないメールアドレスを送信元として使用すると、メールが送信できないためにエラーになる場合があります。

フリーメール等を送信元に設定してメールが送信できなかった場合は、common_setting.pl の設定を書き変えて下さい。サーバによっては送信できるようになることがあります。

設定概要

\$conf{sendmail} に設定した Sendmail のパスに、「-f」(半角スペース、ハイフン、半角小文字のエフ)に続けてスペースを開けずに、サーバで契約しているメールアドレスを追加して下さい。下記例だと、「YOUR-ID@your-server-company.jp」部分がメールアドレスです。

編集例

```
$conf{sendmail} = '/sbin/sendmail -fYOUR-ID@your-server-company.jp'; #sendmailのパス
$conf{from_name} = '株式会社山田商事'; #メール送信元名称 (ユーザ宛...者宛て共通)
$conf{from_mail} = 'campaign@yamada-sho-ji.co.jp'; #メール送信元 (ユーザ...共通)
```

デメリット

ただし、この方法はサーバで許可されていない場合がある他、スパムメールとして判別されやすくなります。運用の際はメールが届くかを事前に確認して下さい。

メールの件名が表示されない場合

メールは送信されるものの、件名が空欄になったり本文の冒頭にアルファベットの文字が羅列される場合があります。これは「すぐ使えるメールフォーム」とお使いになるサーバの仕様の組み合わせによって起こる問題です。

この問題が起きた場合は、common_setting.pl の設定を書き変えて下さい。サーバによっては問題が解消する場合があります。

設定概要

「メールの基本設定」内の \$conf{header_separator} の設定を下記のように変更して下さい。

編集例

```
$conf{header_separator} = "¥012";
```

1-11 管理画面パスワードの設定

フォームの本番公開前に必ず、管理画面にパスワードを掛けてアクセス制限をして下さい。

パスワードの設定は admin/conf.cgi にあります。

このファイルを開いて 15 行目付近にあるシングルクオート 2 つ (") の間にご希望のユーザ名とパスワードを設定して下さい。

このファイルの編集も、上の 2 の条件を満たすエディタで行って下さい。

パスワードの設定例

```
#=====
# 管理画面パスワードの設定
#=====
# 管理画面のパスワードを指定して下さい。
#
```



```
# 使用できる文字： 半角アルファベット、半角数字、@、.(ドット)、-、_
# 文字数： 半角 6-30文字

$conf{admin_name} = 'yareyare'; #ユーザ名
$conf{admin_pass} = 'owattayo'; #パスワード
```

アップロードと確認

ファイルを編集して保存したら、サーバに上書きアップロードして下さい。
アップロード後、管理画面を再読み込みしてログイン画面が表示されることを確認して下さい。

ログイン画面が表示されない場合

ログイン画面が表示されない場合、パスワードで使う文字の種類や文字数が合っているか確認して下さい。許可されていない記号を使っている場合や短かすぎるパスワード、長すぎるパスワードは有効になりません。

また、再読み込みは「F5」や「Ctrl+R」ではできませんので、画面上にある回転した矢印のアイコンをクリックして再読み込みして下さい。

2 サーバ変更に際する注意事項

「すぐ使えるメールフォーム」に保存されたデータは、異なる Web サーバに移設した場合や Web サーバがアップデートされた場合は読み出せなくなる可能性があります。

Web サーバを変更する場合は、変更前に必ずデータを管理画面からダウンロードして保存して下さい。

テストサーバから本番サーバへの移行

テストサーバから本番サーバに移行する場合は、テストサーバからファイルを一旦ダウンロードした上、本番サーバにファイルをアップロードすれば設定を引き継ぎます。ただし、アップロードの前に以下のファイルとディレクトリは削除して下さい。(公開側フォームから登録したデータは引継ぎません。)

```
data/.htdata.dbm
data/.htdata.dbm.index
data/session.dbm
data/session/
data/lock/ (ある場合)
```

3 カスタマイズ方法

3-A 項目の設定

必須設定や形式の制限・自動変換

項目の必須設定や全角／半角の自動変換などの形式チェックの設定は変更できます。不要な項目は削除できます。管理画面の「設定」「項目」メニューから設定して下さい。例えば初期設定では電話番号は必須ではありませんが、これを必須に変更する事ができます。

管理画面からの設定と表示デザインの関係

必須にした項目はフォーム画面で自動的に「」印が付きます。また、不要であれば、「使用しない」にチェックすれば、フォーム画面から自動的に削除されます。

この自動表示のルールについて詳しくは、テンプレートファイル templates/input.html 内にコメントで記載があります。

3-B ディレクトリの変更

設置の URL は以下の手順で変更できます。

B-1) ローカルパソコンでのディレクトリの変更

オーサリングツール (Dreamweaver など) を使って、ローカルパソコン上でディレクトリ名の変更や移動を行って下さい。オーサリングツールが無い場合は、テンプレート内の各種パス (画像や外部 CSS などへのリンク) を手動で編集して下さい。

なお、contact/ の階層を変更する際は templates/ も同じ階層に移動して下さい。

B-2) 設定ファイルの変更

ディレクトリの場所や名前を変更した場合は、設定ファイルの変更も必要です。どのディレクトリを変更したかによって変更が必要な設定ファイルが異なります。下表で該当するファイルを選んで、ファイル内にある「ディレクトリの指定」を変更して下さい。

元のディレクトリと変更する設定ファイルの対応

=====		
変更した	設定ファイル変更の必要	
ディレクトリ	admin/conf.cgi	contact/conf.cgi
=====		
data/		
admin/		
templates/		

contact/

=====
例えば、ディレクトリ名 contact/ を enquete/ に変更した場合は、admin/conf.cgi 内にある設定を以下のように変更して下さい。

変更前

```
#-----  
# フォームディレクトリ  
#-----  
# admin/index.cgi から問合せフォームディレクトリへの  
# URL 上のパスを指定して下さい。  
# 相対パスか、ウェブサーバのトップ階層からの  
# 絶対パスで指定します。  
  
$conf{contact_relative_dir} = '../contact/';
```

変更後

```
#-----  
# フォームディレクトリ  
#-----  
# admin/index.cgi から問合せフォームディレクトリへの  
# URL 上のパスを指定して下さい。  
# 相対パスか、ウェブサーバのトップ階層からの  
# 絶対パスで指定します。  
  
$conf{contact_relative_dir} = '../enquete/';
```

B-3) アップロード

変更したファイルを再度サーバにアップロードし、パーミッションを設定し直して下さい。

3-C デザインの変更

フォームのデザインは、以下のテンプレートとスタイルシート(CSS)ファイルを編集して下さい。オーサリングツール (Dreamweaver やホームページビルダーなど) で編集できます。

ファイルの対応

入力画面	templates/input.html
確認画面	templates/confirm.html
最終画面	templates/thanks.html
スタイルシート	css/sugu.css (Ver. 1.6 以降でCSSファイル名が変更されました。)

画面調整方法

初期設定されている CSS クラスについては、css/sugu.css 内のコメントをご参照下さい。

コードサンプル等のサポート情報は下記ページをご覧ください。
<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/support/form-design>

3-D 管理画面の製品情報の削除

管理画面のフッタに表示される「すぐ使えるメールフォーム」の製品情報の表示を削除するには、`css/admin.css` を編集します。下記例のように編集後、サーバに上書きアップロードして下さい。

なお、製品情報の表示を削除するとライセンス購入のためのページ（「ライセンス情報」画面）にアクセスできなくなりますので、レギュラー版ライセンスをご購入予定の場合は、表示削除前にリンク先の URL を控えておいて下さい。

初期設定

```
/* 製品情報表示 */
.license {
  /* 管理画面の製品情報を隠す場合は以下の 1 行を有効にして下さい */
  /* display: none; */
}
```

製品情報を削除する場合の設定

```
/* 製品情報表示 */
.license {
  display: none;
}
```

3-E 文字コードの変更

E-1) フォーム画面の文字コード

テンプレートの文字コードを変更すると、フォームの文字コードも自動的に変更されます。

フォームの文字コードを変更する場合は、テンプレート（`templates/` 内ファイル）の保存文字コードの変更と同時にメタタグ（`<meta>`）内の文字コードも変更して下さい。

文字コード変更ツールのご案内

下記のオンラインエディタでは、メタタグ内の文字コードと保存文字コードの変更が一気に行えます。

<https://multilingual-editor.sugutsukaeru.jp/>

E-2) メールの文字コード

送信されるメールの文字コードは初期設定では「UTF-8」になっていますが、「ISO-2022-JP」も選択できます。「ISO-2022-JP」にする場合は `admin/common_setting.pl` 内の設定を変更してサーバに

上書きアップロードして下さい。

初期設定

```
$conf{mail_encoding} = 'UTF-8'; #メールの文字コード
```

メールの文字コードを ISO-2022-JP にする場合の設定

```
$conf{mail_encoding} = 'ISO-2022-JP'; #メールの文字コード
```

E-3) CSV の文字コード

CSV ファイルの文字コードは、初期設定では「Shift_JIS」になっています。

「UTF-8」に変更も可能です。変更する場合は admin/common_setting.pl 内の設定を変更してサーバに上書きアップロードして下さい。

初期設定

```
$conf{csv_encoding} = 'Shift_JIS';
```

CSV ファイルの文字コードを UTF-8 (BOM なし) にする場合の設定

```
$conf{csv_encoding} = 'UTF-8';
```

CSV ファイルの文字コードを UTF-8 (BOM 付) にする場合の設定

```
$conf{csv_encoding} = 'UTF-8-BOM';
```

3-F CSV の項目設定

CSV ファイルの項目の順番を入れ替えたり不要な項目を削除する設定は、管理画面の「設定」「CSV」メニューから行って下さい。

3-G 文字化けする文字の変換

「 (マル 1) 」や「(株)」などの特別な記号は「機種依存文字」と呼ばれ、文字化けする事があります。

「すぐ使えるメールフォーム」では機種依存文字が入力された場合に代替の文字、例えば「(1)」や「(株)」に自動変換する事ができます。対象の文字を指定するには admin/common_setting.pl 内の設定を変更してサーバに上書きアップロードして下さい。

初期設定

初期設定では、あまり使われなそうな文字がサンプルとして登録されています。

```
#[ '変換対象', '代替文字'],  
$conf{conv_expression} = [  
    [ ' ', '(9)' ],  
];
```

設定例

サンプルの 1 行をコピーして追加後、左側に変換する文字 (1 文字のみ)、右側に代替の文字 (複数文字可) を設定して下さい。

```
#[ '変換対象', '代替文字'],
$conf{conv_expression} = [
    ['株', '(株)'],
    ['有', '(有)'],
    [' ', '(1)'],
    [' ', '(2)'],
    [' ', '(3)'],
    [' ', '(9)'],
];
```

3-H カスタムチェック

入力内容を細かくチェックするカスタムチェックを設定する事もできます。例えば「規約へ同意します」など、特定の選択肢だけを OK にしたり、一つの値の入力によって別の項目のチェックの条件を変える時などに設定して下さい。

カスタムチェックを設定するには、admin/common_setting.pl 内の設定を変更してサーバに上書きアップロードして下さい。予めいくつかサンプルが設定してありますので、コピーしてお使い下さい。

なお、この設定にはプログラミング言語 Perl の知識が必要です。うまく行かない場合は有料のサポートをご利用下さい。サポートに関するお問合せは下記 URL からお願い致します。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/contact/contact>

3-I 郵便番号検索機能

郵便番号により住所を自動入力する機能を付ける事ができます。株式会社人気組さまの「ajaxzip3」という無料ライブラリ利用させていただく方法です。

設定方法は下記ページをご覧ください。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/support/customize#seach-address-by-zip>

2019 年 7 月現在は既に後継製品の YubinBango 公開がされていますが、上記設定方法はまだ有効です。

3-J Salesforce.com の Web-to- リードとの連携

問合せを Salesforce.com のリードとして登録するようにテンプレートを編集する事もできます。フォームの文字コードが (Salesforce.com 指定の) UTF-8 でなくても動きます。

設定方法は下記ページをご覧ください。

<https://email-form.sugutsukaeru.jp/ja/support/customize#salesforce-web-to-lead>

4 フリー版とレギュラー版の違い

フリー版とレギュラー版の製品ファイルは共通です。ライセンスをご購入いただきライセンスキーを登録すると、レギュラー版の機能がご利用いただけます。2つの違いは以下の通りです。

4-A 購入と価格

フリー版は登録なしに何か所でもお使いいただけます。レギュラー版は1か所ごとにライセンスをご購入下さい。

4-B 機能の違い

フリー版とレギュラー版は、使用できる項目数が異なります。フリー版では連絡先情報とコメント欄1つ(最大10項目)、レギュラー版ではカスタム項目を加えて最大55項目まで利用できません。

また、フリー版では送信可能なメールの数が1種類ですが、レギュラー版では複数のメールが送信できます。レギュラー版であれば「お客様用」「社内用」「API用」など、複数のメールの設定が可能です。

4-C 製品リンクの表示

フリー版ではフォーム画面に「すぐ使えるメールフォーム」の製品名とWebサイトへのリンクが表示されます。

著作権について /Copyright

この製品の著作権はすぐ使える株式会社が保有しています。
指定された範囲外のコードを修正することは利用規約違反となります。

Copyright(c) 2013 Sugutsukaeru Inc. All rights reserved.

Modification of this product are not permitted.

More information and contact are available at <https://email-form.sugutsukaeru.jp/>.

開発元・お問合せ先 /Contact

すぐ使える株式会社 contact@sugutsukaeru.jp
<https://sugutsukaeru.jp/ja/account/contact.html>